

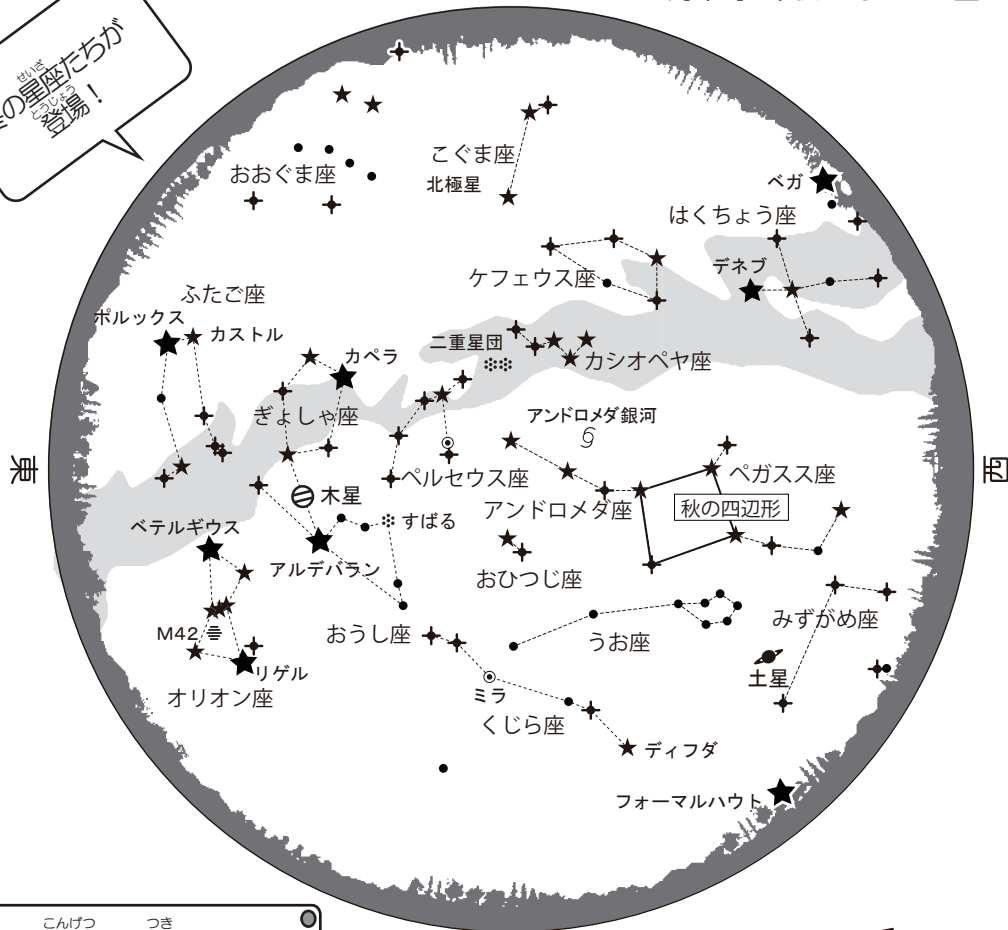
星空だより

2024年12月
No.169
富山市科学博物館

12月中旬 午後8時ごろの星空



冬の星座たちが登場!



海

山

～今月のお月さま～

12月 1日	新月	●
12月 9日	上弦	◐
12月 15日	満月	○
12月 23日	下弦	◑
12月 31日	新月	●

南

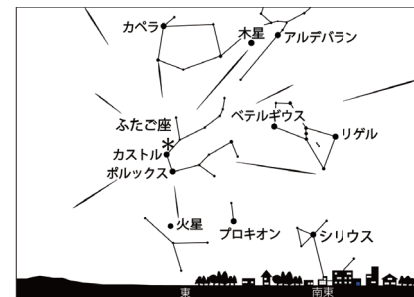
見たい方角が
下になるように持って
その方角の空を
見てね。



流れ星を見てみよう

12月14日は流れ星が多く流れる「ふたご座流星群」の極大日です。今年は13日の夜から14日の明け方にかけてがいちばん多く見られます。一晩中月明りの影響を受けるため条件が悪いですが、街明かりの少ないところで空全体を見るようにしましょう。夜は寒くなりますので、あたたかい服装で見てくださいね。

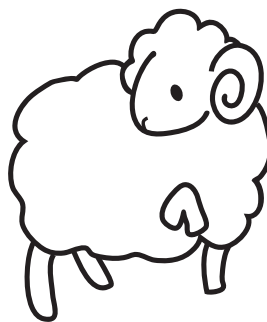
12月13日午後10時頃



ふたご座流星群の流星はふたご座から広がる方向に流れます。

黄道十二星座紹介

☆おひつじ座☆



おひつじ座は、ギリシャ神話に出てくる金色の毛皮を持ち、空を飛ぶことのできるひつじの姿といわれています。この金色の毛皮を求めてギリシャ神話の英雄たちが集まり冒険をした物語が伝わっています。

※黄道十二星座って？

太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

星空観察会

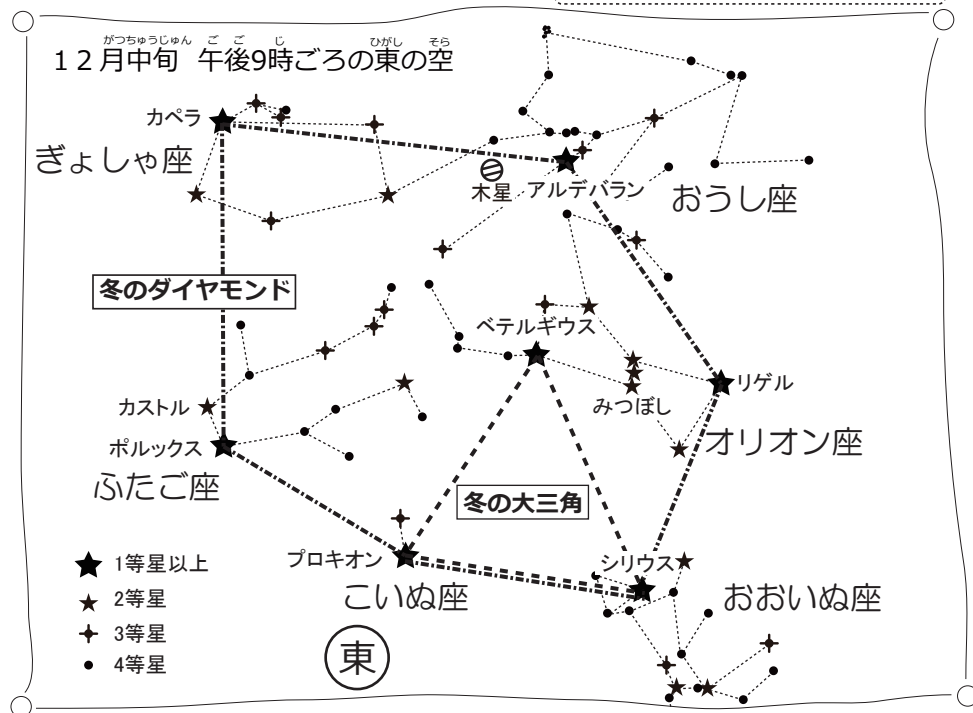
毎週土曜日の夜に開催。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。



今月の さがしてみよう

冬の星座たち



- 1 リボンのような形のオリオン座を見つめます。
- 2 オリオン座の真ん中の3つ並んだ星（みつぼし）を下にのばして、冬の星座で一番明るく輝くシリウスを見つめます。
- 3 オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンで作る「冬の大三角」を見つめます。
- 4 オリオン座のみつぼしを上のにのばして、おうし座のアルデバランを見つめます。
- 5 そこから左にのばしてカペラと、五角形に並んだぎょしゃ座を見つめます。
- 6 ぎょしゃ座の下に、2つ並んだ明るい星のあるふたご座を見つめます。
- 7 シリウス、プロキオン、ポルックス、カペラ、アルデバラン、リゲルをつないでできる大きな六角形が「冬のダイヤモンド」です。

今月のオススメ星座！



くじら座

しっぽのところにある2等星「デニブカイトス」が目印で、この星はくじらのしっぽという意味の「デネブカイトス」とも呼ばれます。また胸のところにある星は「ミラ」といい、明るさが変わる星（変光星）として知られています。



かに座

かに座とは馬車の運転手のことです。黄色の1等星「カペラ」と、カペラをふくむ五角形の星の並びが目印です。カペラは「小さな雌やぎ」という意味で、星座絵でもやぎをかかえた男の人が描かれています。

天文コラム

夜に見られるのは22年ぶり！土星食

12月8日に土星が月に隠される「土星食」が起こります。

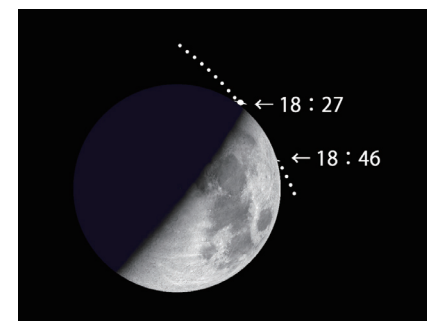
夕方18時半頃に起こり、暗くなった空で土星も明るく見えるため、肉眼や双眼鏡でも観察できます。

さらに望遠鏡を使うと、環のある土星が、ゆっくり3分間くらいかけて、月に隠されていく様子が観察できます。

当日の18時から、科学博物館で特別観覧会「土星食を見よう」を開催します。

オンライン中継開催！

当日、18時からYouTubeの当館公式チャンネルにて、土星食の様子をライブでお届けする予定です。



18:27 土星が月に隠れ始める
18:46 土星が再び見え始める